

「京都に学ぶ・京都を発信する」をサポートする プチコンテンツ・セルフガイド制作



取組の背景

- ▶ 京都の**地理・歴史・文学・生活・美術・音楽**は各教科の教員養成に大きく連動
- ▶ 学習指導要領改訂に伴うプログラミング教育必修化により**教員はICT活用能力**の向上が必須
- ▶ 毎年全国の約110万人の小中高校生が京都に修学旅行に訪れることから、**全国の学校教員**は京都についての知識が必要

プロジェクトの目的

教員養成の一環として学生による「京都に学ぶ、京都を発信する」プチコンテンツ・セルフガイドの制作・公開

- ① ICTを活用した教材コンテンツを制作する能力育成のための科目開設
- ② 京都に精通した専門家による講座を開講し、京都の魅力を学生が学ぶ機会を実現
- ③ 京都の魅力を学んだ学生がビデオ取材し、教材用動画コンテンツを制作・発信

取組内容三本柱

京都に学ぶ講座

京都に学ぶ・京都を発信する講座

祇園祭の歴史と構造

京都の美術館 出かけよう!

ふろしきは魔法の布

プチコンテンツ制作講座

映像教材制作講座

この講座を受けると・・・

- ▶ 動画撮影・編集の基本
- ▶ 教育的観点を取り入れた動画制作方法

第1回 映像教材の有用性と制作方法

開催：京都教育大学 共通講義室 2F 教室

日程：2016年11月14日（月）3回（12:50～14:00）

内容：映像教材についての概要説明と簡単な制作手法の講義

京都の魅力を発信するセルフガイド制作

動画で伝える日本の伝統文化

京都を発信する具体的な取組内容

学内実施体制

企画調整室 岩村伸一（理事・副学長：総務・企画担当）

京都市担当 岡田敏之（教職キャリア高度化センター）
内容担当 香川貴志（社会科学科・人文地理学）
ICT担当 黒田恭史（数学科・数学教育）

地理部門 石川 誠（社会科学科・公共政策）
歴史部門 中村 翼（社会科学科・日本史）
文学部門 天野知幸（国文学科・日本近現代文学）
中俣尚巳（国文学科・日本語文法）
生活部門 湯川夏子（家政科・食物学）
延原理恵（家政科・住居学）
権 眞煥（家政科・生活工学）
美術部門 南山泰宏（環境教育実践センター・植物育種）
安江 勉（美術科・デザイン）
村田利裕（美術科・美術科教育）
丹下裕史（美術科・陶芸）
日野陽子（美術科・美術工芸科教育）
音楽部門 山内朋樹（美術科・美術理論）
田中多佳子（音楽科・音楽学）
田邊謙恵（音楽科・声楽）
増田真結（音楽科・作曲）

京都を発信する動画制作

プチコンテンツ：
1本3分間程度
計150本開発
(30本×5領域)

地理

文学

歴史

生活

美術
音楽

学生による動画取材場面



成果（令和2年3月末現在）：

① ICTを活用した教材コンテンツを制作する能力育成のための科目開設

平成31年度のカリキュラム改訂に伴い、下記を本事業の内容を取り上げる科目と設定

- ・必修科目：Kyokyoスタートアップセミナー（新規開講科目）
内容：情報モラル入門、知的財産権・著作権入門、プレゼン入門
- ・選択必修科目：子どもと情報（全学生の約2/3履修）
内容：ICTとグローバル時代に対応した授業の実践例と求められる教師のスキル
- ・専攻専門科目（取材内容に応じて変化）：漢文学演習、国文学演習、社会科教育演習、
作庭実習、調理科学実験・実習、器楽基礎演習、声楽演習など

② 京都に精通した専門家による講座を開講

- ・「京都に学ぶ・京都を発信する」講座
計13講座開講 延べ354名参加

③ 京都の魅力を学んだ学生がビデオ取材し、教材用動画コンテンツを開発

- ・「映像教材制作」講座
計10講座開講 延べ195名参加
- ・「京都に学ぶ・京都を発信する」プチコンテンツ制作
計151本制作 YouTube総視聴回数54,019回 1本平均約358回
- ・セルフガイドとしての専用ホームページ開設 (<http://gakumachi.kyoto/>)
平成29年10月開設（Google Map内蔵で場所と内容の双方を検索可能）

当初の計画よりプラスαの成果：

- ・②の「京都に学ぶ・京都を発信する」講座をYouTubeにアップロード
（13講座分、計88本） 総視聴回数2,046回
- ・③の「映像教材制作」講座をYouTubeにアップロード
（5講座分、計19本） 総視聴回数877回

今後の地域連携：

- ・長年にわたって学生の各領域専攻の専門性を活かして地域と連携
⇒学生が主体的に地域社会に貢献し、教員の資質・能力の向上に活かす取り組みを推進
- ・「学まち連携大学」促進事業の中で取り組んだ、学生の動画編集能力の向上
⇒新カリキュラムによるさらなる充実、各教科の専門性と連動した京都の街の動画撮
影・編集を継続・発展
- ・京都の魅力について学ぶ講演会の実施とアーカイブ化
⇒今後開催する様々な講演会をアーカイブ化し、広く本学公式YouTubeサイトなどを
通して発信